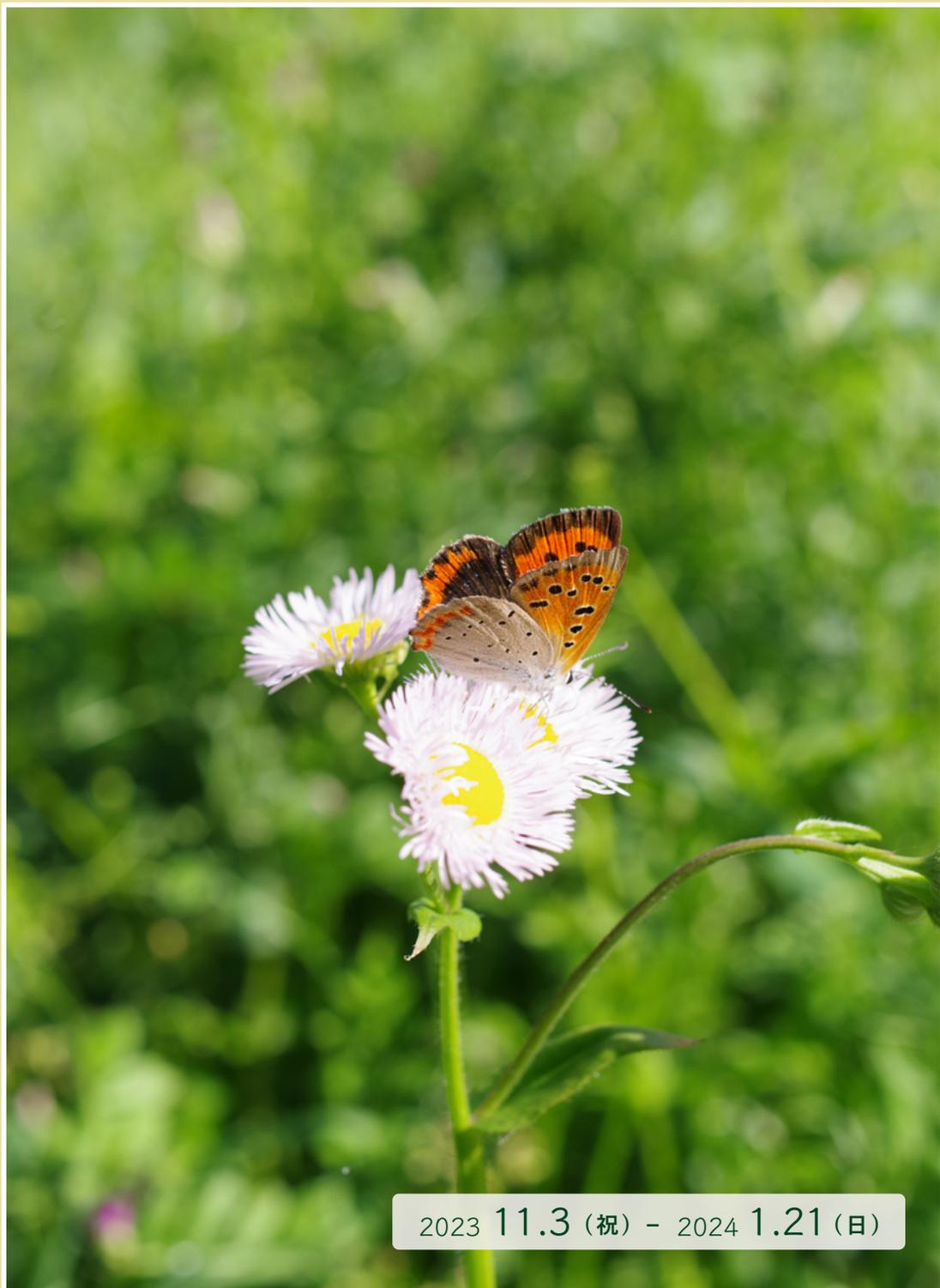


企画展 詩と遊ぶ^{あそ}〜新美南吉と知多の自然
photographs by 相地透



2023 11.3 (祝) - 2024 1.21 (日)

新美南吉記念館

新美南吉は、生涯に200篇を越える詩を残しました。詩を一つ一つ読んでいくと、とてもたくさんの方が登場します。ちょう、かえる、こおろぎ、みつばち、ほたる……。生活をしながら見かける生きものが詩に描かれています。南吉は身近な自然をよく見つめて、自分自身を重ね、詩に綴っていました。

南吉のふるさと「知多半島」の自然は、かつての姿から大きく様子が変わっています。この数年間、知多半島各地をめぐりながら、その様子を写真に撮ってきました。野も町も、南吉が生きていた頃とは、まったく異なる風景ですが、そこで出会った生きもの達は、おそらく南吉も見ていた頃と一緒です。

企画展のタイトル「詩と遊ぶ」の「遊」という字には、文字通り、あそぶという意味のほかに、「ただよう」という意味があります。本企画展を通して、南吉が文学的感性を育んだ知多半島の自然に想いを寄せて頂けたら幸いです。

写真家 相地透（そうちとおる）

少女ぶり

日なたにいてもあつくない

ひかげにいても寒くない

こんな季節を待って

紫蘇の花は咲くのです

日なたにあってもかすかな

ひかげにあってもめにたたぬ

こんな花を選んで

しじみ蝶々は来るのです

風が立ってもすぐ消える

草が光っても見失う

こんな小さな蝶々に

私のおもいは寄せましょう



会期：2023年11月3日（祝）～2024年1月21日（日）

開館時間：9:30～17:30

休館日：毎週月曜日、毎月第2火曜日、年末年始

（祝日・振替休日の時は開館し、その次の開館日が休館になります）

観覧料：常設展観覧料（高校生以上220円）で観覧できます

【新美南吉記念館】

〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1 TEL.(0569)26-4888 FAX.(0569)26-4889

【アクセス】

鉄道：名鉄河和線「半田口駅」より西へ徒歩20分 車：知多半島道路「半田中央IC」より東へ5分

バス：半田市地区路線バス「ごんくる」で「知多半田駅（雁宿ホール前）」停留所より15分



記念館 HP